



umango

処理の保存先手順書
ネットワークフォルダ

ネットワークフォルダ

ネットワーク フォルダー コネクタを使用すると、Umango によって処理されたドキュメントをネットワーク フォルダーにエクスポートできます。このコネクタを使用して、サブフォルダーを含む構造化フォルダーを作成したり、「マージ フィールド」または「ゾーン」から取得した情報を使用してファイルの名前を変更したりすることもできます。「ゾーン」と「テキストの結合」の詳細については、「ゾーン」と「マージ フィールド」の説明書を参照してください。エクスポート先としてネットワーク フォルダを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理の設定で、「保存先」タブをクリックしてください。



保存先のアクセスタブ

2. 「コネクタを追加」ボタンをクリックしてください。



「コネクタを追加」ボタン

3. 「ネットワーク フォルダ」を検索し、「追加」ボタンをクリックしてください。



「ネットワークフォルダ」の選択

4. ルートフォルダ ディレクトリを入力するか、[青いボタン] をクリックしてルート フォルダー ディレクトリを選択してください。

※サーバーが Active Directory の一部である場合は、ルート フォルダ一を認証されたユーザーのホーム ディレクトリに設定することもできます。



ルートフォルダの設定

5. 必要に応じて、サブフォルダーのディレクトリを入力してください。サブ フォルダの命名には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。



サブフォルダの設定

6. 「ドキュメント名」タブをクリックしてください。



「ドキュメント名」タブ

7. ドキュメント名を入力してください。ドキュメント名には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。



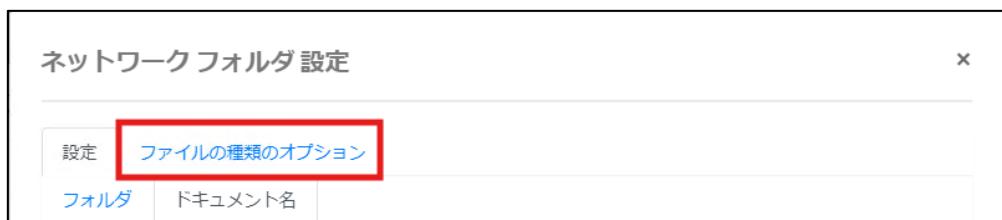
ドキュメント名の設定

8. 同じ名前のドキュメントがある場合に Umango が行うべき処理のオプションを選択してください。



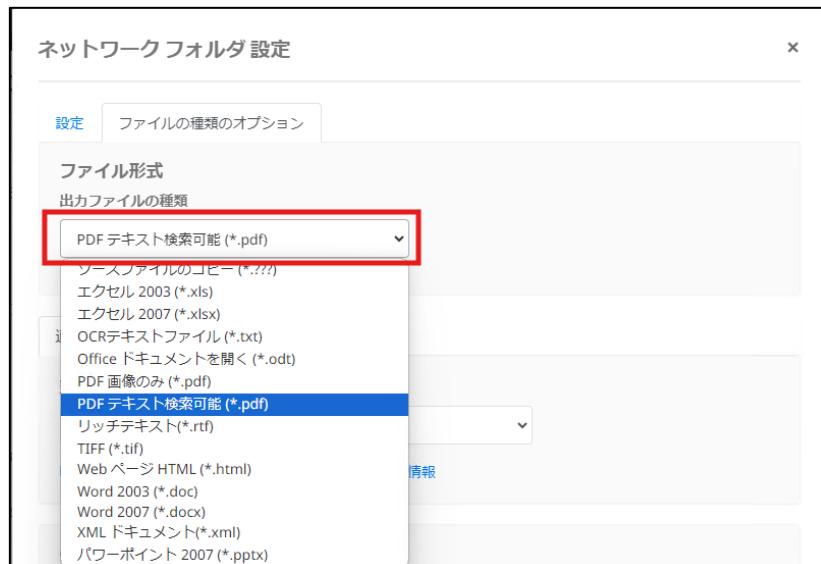
同じ名前のドキュメントがある場合の設定

9. 「ファイルの種類のオプション」タブをクリックしてください。



「ファイルの種類のオプション」タブ

10. ドキュメントをエクスポートするファイルの種類を選択してください。



ファイルの種類の選択

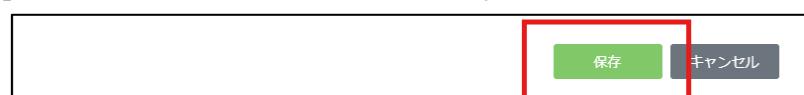
11. ファイルの種類に応じて詳細設定を行ってください。ファイルの種類の詳細設定の詳細については、「ファイルの種類のオプション」の説明書を参照してください。



保存 キャンセル

ファイルの種類の詳細設定

12. 「保存」ボタンをクリックしてください。



「保存」ボタン